

令和5年4月17日

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
oo

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。まわりに登録されていない方がおられましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html> をご覧ください。
oo

【 本 号 の 内 容 】

【技術普及課からのお知らせ】

☆国内肥料資源活用総合支援のご案内！

【施策情報】

☆みどりの食料システム法に基づく農業者認定が本格スタートしました！

☆「農林水産省生物多様性戦略」を改定しました！

☆国際水準 GAP に取り組んでみませんか？

☆eMAFFによるスーパーL資金等のオンライン申請の開始について

☆中古の輸入農業機械が植物検疫の対象になりました

【病虫害発生予報の発表について】

☆「令和5年度 病虫害発生予報第1号」の発表について

++・…… 技術普及課からのお知らせ ……・++

=====

◆ 国内肥料資源活用総合支援のご案内！

=====

農林水産省では、令和4年度補正予算において、海外からの輸入原料に依存した肥料から、堆肥や下水汚泥資源等の国内資源を活用した肥料への転換を進める取組等を支援しています。

普及指導員の皆様においては、国内資源を活用した肥料の導入や効果の実証試験等にも、本事業を活用することができます（定額支援）。

また、農家段階でも実証試験のほか、マニュアルスプレッダやブロードキャスタ等の散布機導入の支援が可能です。

第3回の事業募集の受付期間は、令和5年4月24日（月曜日）～5月15日（月曜日）を予定しています。

以下の情報をご覧ください、事業を活用されたい方は、申請の準備を進めてください。

▼詳細はこちら

○国内肥料資源活用総合支援事業の募集情報

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryo/kokunaishigen/kokunaishigen_bosyu.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課（担当：島、萱野、秋田谷）

（０３－６７４４－２１８２）

農業環境対策課（担当：鈴木、佐々木、末崎）

（０３－３５９３－６４９５）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆みどりの食料システム法に基づく農業者認定が本格スタートしました！

【大臣官房みどりの食料システム戦略グループ】

=====

「みどりの食料システム法」に基づく基本計画がすべての都道府県で公表され、令和５年４月から農業者の認定が全国で本格的にスタートしました。

認定を受けると、設備投資に対する税制特例や無利子融資等に加え、補助金の優先採択などのメリット措置を受けることができます。

普及指導員の皆様におかれましては、現場での積極的な制度の活用促進に向けて、周知等のご協力をよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○みどりの食料システム法について

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/houritsu.html>

○みどり投資促進税制の対象機械について

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/midorihou_kibann.html

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 みどりの食料システム戦略グループ

（担当：山本、鎌田）（０３－６７４４－７１８６）

=====

◆「農林水産省生物多様性戦略」を改定しました！

【大臣官房みどりの食料システム戦略グループ】

=====

農林水産省では、近年の生物多様性をめぐる国内外の動向を踏まえ、「農林水産省生物多様性戦略」を本年３月に改定しました。

新たな戦略では、2030 ビジョンとして「農山漁村が育む自然の恵みを生かし、環境と経済がともに循環・向上する社会」を掲げており、生物多様性をより重視した農業生産の推進や、消費者を含む関係者の理解と行動変容の促進等に取り組む考えです。

普及指導員の皆様におかれましては、施策の推進にご協力のほどよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○農林水産省生物多様性戦略（令和５年３月改定）

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/c_bd/bds_maff/index.html

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 みどりの食料システム戦略グループ

（担当：古林、大城、湊谷）（０３－６７４４－２０１７）

=====

◆国際水準GAPに取り組んでみませんか？

【農産局農業環境対策課】

=====

この度、農業環境対策課GAP推進グループでは国際水準GAPにかかるパンフレットを作成しました。

農業者の皆様、普及指導員の皆様、GAP関係者の皆様におかれましては、こちらのパンフレットをご参照いただき、少しでもGAPが身近に感じられるようになれば幸いです。

パンフレットについて、３種類ございますので用途に合わせてご参照ください。

普及指導員の皆様におかれましては、農業者の方にGAPを指導いただく際に是非、ご活用ください。

▼詳細はこちら

○国際水準 GAP について

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/attach/pdf/try-gap-2.pdf>

・国際水準 GAP が５分野で構成されていることや、国際水準 GAP に取り組むメリット、また、SDGs に貢献できることを記載しています。

○初級編

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/attach/pdf/try-gap-4.pdf>

・GAP に取り組んだことがない方に向け、農場に潜むリスクから GAP について考えていただくものとして作成しています。

○中級編

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/attach/pdf/try-gap-6.pdf>

・GAP にある程度なじみのある方にさらに取り組んでいただくための国際水準 GAP ガイドラインの解説書です。

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 農業環境対策課（担当：鳥海・三浦）

（０３－６７４４－７１８８）

=====

◆eMAFFによるスーパーL資金等のオンライン申請の開始について

【経営局金融調整課】

=====

日本政策金融公庫農林水産事業は、令和５年４月１日より、農林水産省共通申請サービス（eMAFF）のオンライン申請対象融資制度の拡充を受け、スーパ

ーL資金（農業経営基盤強化資金）、青年等就農資金等の借入手続きにかかるオンライン申請受付を開始しました。

普及指導員の皆様におかれましては、eMAFFの積極的な活用に向けて周知等のご協力をよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○農林水産省共通申請サービス(eMAFF)によるオンライン申請の開始

https://www.jfc.go.jp/n/release/pdf/topics_230331a.pdf

※お問い合わせ先

農林水産省経営局金融調整課（担当：三善）（03-6744-2165）

=====

◆中古の輸入農業機械が植物検疫の対象になりました

【消費・安全局植物防疫課】

=====

中古の農業機械には、輸入が禁止されている「土」が付いていることがあります。病虫害の侵入を防ぐため、植物と同様に輸出国の検査証明書の取得が必要になりました。

普及指導員の皆様におかれましても、本制度をご理解いただくとともに、輸入中古農業機械を使用する又は輸入し得る生産者の方々に周知をいただけるよう、ご協力のほどよろしくお願いします。

ご不明点がございましたら、最寄りの植物防疫所までお問い合わせください！

▼詳細はこちら

○輸入中古農業機械に対する植物検疫措置の適用について

https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/import/chukonouki_imp_info.html

○植物防疫所の問い合わせ先

<https://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/outline/contact.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課（担当：中川、大田、中村）

（03-6744-7167）

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

=====

◆「令和5年度 病虫害発生予報第1号」の発表について

【消費・安全局植物防疫課】

=====

農林水産省は、令和5年4月12日(水)付けで、向こう1か月の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第1号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○ 向こう1か月の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については、次の

- 1 野菜では、いちごのアザミウマ類の発生が、関東、東海、中国及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- 2 果樹では、かんきつのハダニ類の発生が、南関東及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- 3 茶では、カンザワハダニの発生が、南関東及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、トマトのコナジラミ類等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

- ・都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。

- <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/230412.html>

- https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html

 編集後記

新年度を迎え皆さま方はいかがお過ごしでしょうか。新社会人の皆様は緊張の面持ちで毎日の業務に精励されていらっしゃると思います。編集部もメンバーの入れ替りがありました。編集担当はYからTへ、新たな気持ちで業務に臨んでいきますので、どうぞよろしくお願いします。

さて、報道によれば、今年は、マスク着用が緩和され、入社式もマスクなしで対面開催されるなど「コロナ前」の姿を取り戻しつつあるようです。皆様の普及指導活動も、コロナ禍の下、諸活動に制限が生じていたと思います。新型コロナウイルス感染症の状況がこのまま落ち着き、方針どおり、インフルエンザと同様の「5類感染症」に変更されれば、今年度はより自由な活動が期待できるのではないのでしょうか。日本が、世界が一日も早くそのような社会に戻りますように！

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。